

2025 年 9 月 9 日

各 位

株式会社デジタルプラス（コード番号：3691）

代表取締役社長 菊池 誠晃

資金移動業対応デジタルウォレット、au PAY ギフトカードで受取可能に

～各種 PAY サービスが乱立する時代に、送金手段を束ねるアグリゲーターへ～

株式会社デジタルプラス（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区、東証グロース市場：証券コード 3691）の子会社である、株式会社デジタルフィンテック（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：北海道札幌市）が運営する「デジタルウォレット」において、9 月中に「au PAY ギフトカード」の取り扱い開始を予定しております。受取先の拡大により、各種 PAY サービスを横断的につなぐ送金手段のアグリゲーターとしての展開を本格化いたします。



■au PAY について

「au PAY」は、会員数が約 3,840 万人で、753 万カ所のポイント・決済加盟店で利用可能なスマホ決済サービスです。実店舗での QR／バーコード決済、請求書払い、ネットショッピングなどのオンライン決済に対応しており、実店舗や一部ネットショッピングでの決済時には、0.5%の Ponta ポイント（1 ポイント／200 円）が還元されます。

「au PAY」について：<https://aupay.wallet.auone.jp/>

■「au PAY」特長

(1) スマートフォンだけでおトクにお買い物

スマートフォンから「au PAY アプリ」1 つで店舗、オンライン、請求書の支払いができ、au 契約者でなくともご利用いただけます。支払い時にたまった Ponta ポイントは au PAY 残高にチャージできます。対象の Ponta 提携店でのお買い物ではポイントがダブルでたまり、さらにおトクです。

(2) 豊富なチャージ手段に対応

Ponta ポイントやクレジットカード、銀行口座からのチャージ、ローソン銀行・セブン銀行の ATM やローソン店頭などでの現金チャージ、au PAY ギフトカードや au PAY スマートローン など、さまざまなチャージ方法が選択可能です。au/UQ mobile のお客さまはチャージした金額を月々の携帯料金と合算することもでき、残高が不足した際に自動でチャージする「オートチャージ」も設定可能です。

(3) 「au Ponta ポータル」で、たまったポイントを確認

「au Ponta ポータル」にアクセスいただくと、au PAY の利用でたまったポイント数や有効期限、利用可能場所などが確認できます。au PAY アプリや My au アプリなど、普段お使いのアプリやウェブサイトからアクセスいただけます。

■各種 PAY サービスとの連携を本格化

今回のデジタルウォレットと au PAY ギフトカードの取り扱い開始により、各種 PAY サービスを網羅的にカバーし、**金融機関の垣根を超えて「送りたい人に、送りたい方法で、直感的に送れる」**環境をさらに拡大してまいります。

当社では既に、デジタルギフト®や株主優待ギフトにおいて、au PAY ギフトカードを始め、Amazon ギフトカードや PayPay マネーライトなど、多様な受取先との連携を拡充してまいりました。

当社は今後も、ユーザーの皆様が日常生活の中でご利用いただける受取環境の拡充を進め、安心してご利用いただける「網羅的な選択肢」の提供を目指してまいります。

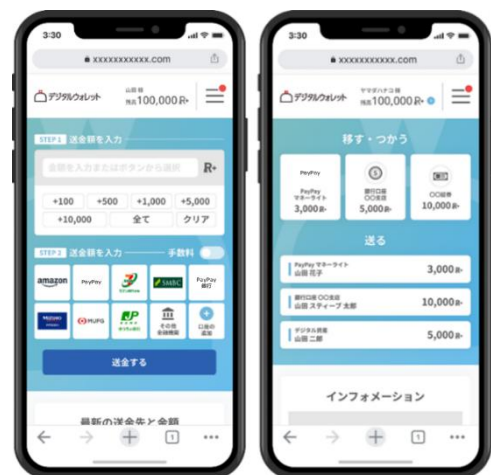
■サービス概要

・デジタルウォレットについて

資金移動業取得に伴う今回のリリースにより、報酬などの役務提供や中古品買取金など対価性のあるものを、地方銀行を含む全銀行や PayPay マネーライトや Amazon ギフトカードなどのキャッシュレスから選んで**リアルタイム受取**ができるようになります。

直感的に送金できるシンプルな UI(ユーザーインターフェース)を実現し、金融機関ごとの垣根を越えて**「送りたい人に、送りたい方法で、直感的に送れる」**体験の提供を目指します。

また、一度送金した相手には、銀行や PAY サービスなど関係なく即送金することができる機能も搭載いたします。



・デジタルウォレットからの送金先拡充

まずは、国内主要 PAY や各種サービスとの連携から着手し、利便性の高い送金体験の提供を進めてまいります。将来的には、地域通貨・暗号資産取引所・証券口座・海外のキャッシュレス・プリペイドなど、対応範囲を段階的に拡大し、金融機関や国の垣根を超えた送金先の多様化を図ってまいります。

※旧バージョンの「デジタルウォレット」につきましては、今後「デジタルギフト®」へ統合してまいります。

・サービスページ

<https://digital-wallet.jp/plus/business-payout/lp01>

■デジタルウォレットを利用するメリット

①地方銀行を含むすべての銀行だけでなく、多様な受取先からも選択することが可能

サービス開始当初は、PayPay マネーライトや Amazon ギフトカードなどのデジタルマネー、および全銀行などの金融機関による現金受取を想定しています。

将来的には、AML/CFT 対策を適切に行える体制のもと、当局及び関係機関と連携し、証券口座や新たなデジタル資産との接続を視野に入れております。これにより、多様な受取手段を束ねるデジタルマネーの交換アグリゲーターとなることを目指します。

②送金・振込業務における工数やコストの削減

③eKYC を用いた反社チェックシステムを低コストでご提供

■流通総額 1,000 億円に向けて

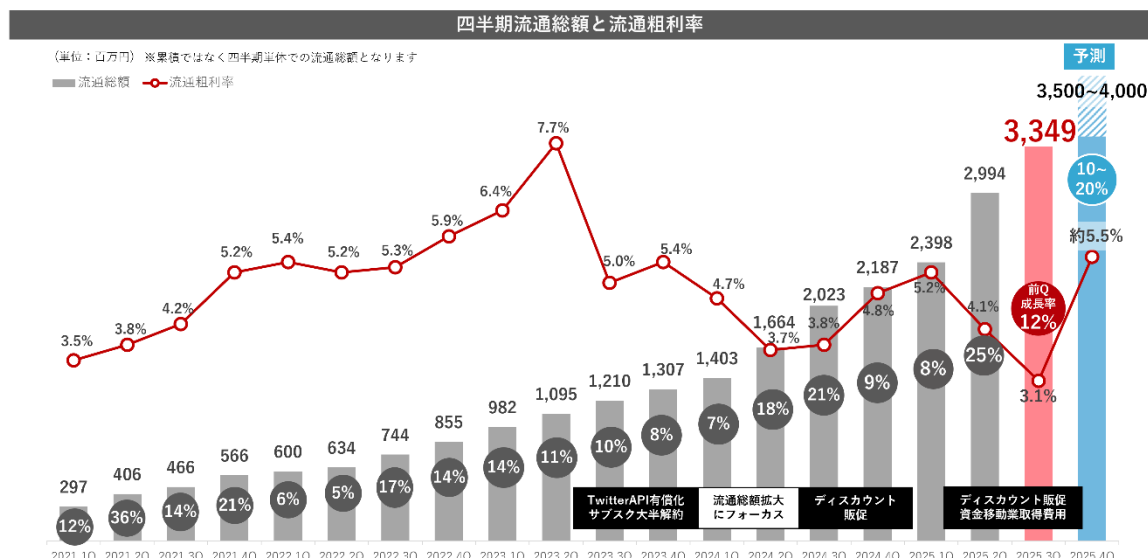
当社は、2027 年 9 月期における流通総額 1,000 億円の達成を中期目標(※)に掲げ、以下の施策を中心に流通総額の拡大を推進しております。

- ・株主優待領域をはじめとするデジタルギフト®の提供範囲拡大
- ・補助金ファクタリングの再開
- ・資金移動業サービスの事業展開

また、中間目標として、現在の約 3.5 倍にあたる「月間」流通総額 35 億円（年間 420 億円ベース）を設定し、各施策を着実に推進してまいります。

2025 年 9 月期第 3 四半期においては前四半期対比 112%、流通総額約 34 億円へ到達いたしました。流通総額 1,000 億達成に向けて、「3 万円以下の to C 現金支払い」を、①広告領域 ②人材領域 ③金融領域の 3 軸にて網羅を目指してまいります。各領域における取り組みを強化し、2027 年 9 月期に掲げている流通総額 1,000 億円を達成することで、圧倒的低手数料を実現し、より多くの企業様にご利用いただけるよう、更に邁進してまいります。

※資金移動業取得の遅れにより中期目標の時期を見直し中



■ デジタルフィンテック運営サービスについて

- ・ デジタルウォレット : <https://digital-wallet.jp/>
- ・ デジタルギフト® : <https://digital-gift.jp/>

■ 株式会社デジタルプラス 会社概要

社名	株式会社デジタルプラス
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13
設立年月日	2005 年 7 月 29 日
事業内容	フィンテック事業・デジタルマーケティング事業
コーポレートサイト	https://digital-plus.co.jp/

■ 株式会社デジタルフィンテック 会社概要

社名	株式会社デジタルフィンテック
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 8-1-8
設立年月日	2016 年 4 月 20 日
事業内容	フィンテック事業

以 上

【サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社デジタルフィンテック 担当 原田
 TEL:03-5465-0695
 Email:info@digital-plus.co.jp

【当リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社デジタルプラス PR 担当 諸星
 TEL:03-5465-0690
 Email:pr@digital-plus.co.jp